

(様式1)

施設指定管理者モニタリングチェックシート

令和3年 10月～ 12月

施設名	豊明市老人福祉センター
指定管理者名	社会福祉法人 豊明市社会福祉協議会
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
所管課	豊明市長寿課

区分	項目	指定管理者	指定管理者備考	市	市備考	
①業務の履行確認	【施設全般の管理運営に関する業務】					
	条例施行規則に基づいた開館日・時間を遵守しているか	A	風呂利用をコロナウイルス感染拡大により、引き続き人数制限等継続する。	A	人数制限等しながらも遵守している。	
	条例規則ほか各種規程を遵守のうえ、施設を供用しているか	A	行なっている。	A		
	人員体制が明確になっており、常に体制が整っているか	A	整っている。	A	職員5人のうち2人体制を常時取っている。	
	適切な有資格者を常に配置しているか	A	配置している。	A	ポイラー技工士、看護師、准看護師、介護福祉士。	
	管理日誌等により、業務の記録をしているか	A	行なっている。	A	業務日誌と修繕記録にて管理している。	
	緊急事態発生時の対処マニュアルが整備されているか	A	されている。	A	病気ケガ・事故や不審者対応と福祉避難所のマニュアルがある。	
	【利用者に関する業務】					
	利用者数、稼働率等が著しく低下していないか	A	新型コロナ感染拡大防止の為に各部屋人数制限をしつつ、徐々に利用数が増えてきた。	A	人数制限はしているが、利用者や稼働率が著しく低下している訳ではない。	
	利用料金の設定、徴収、還付等手続は適切か	A	適切に行なっている。	A	名札を110円据え置きとしている。	
	【保守点検並びに清掃業務等】					
	建物、機械等の点検・保守は定期的に行われているか	A	行なっている。	A		
	定期的に清掃、除草、剪定等は行われているか	A	行なっている。	A		
	異常、不具合等を発見した場合、速やかに市に報告しているか	A	行なっている。	A		
	利用者に対し、危険箇所の注意喚起を行っているか	A	故障箇所はその都度利用者にわかるよう注意喚起した。	A	掲示により注意喚起しており事故やケガは無し。	
	破損箇所等が見つかった場合、適切に修繕等が行われているか	A	行なっている。	A		
	修繕等の履歴を適切に管理しているか	A	女子トイレ鍵修繕を行なった(12月)	A	修繕記録にて管理。	
	備品は適切に管理しているか	A	備品台帳を確認し整理している。	A		
	消耗品等は適切に補充しているか	A	補充している。	A		
	【事業の実施に関する業務】					
	指定事業は適切に実施されたか	A	11/25～26作品展を開催。芸能発表はコロナ感染拡大防止のため中止とした。	A	コロナの感染拡大を防止しながら可能な限り実施出来ている。	
	自主事業は適切に実施されたか	B	制限をかけながら実施できるものは遂行し、感染拡大の影響が心配されるものは中止した。	A	左記の自己評価を受け、適切に実施されたと評価する。	
	【個人情報の取り扱い】					
	個人情報等の管理は適切に行われているか	A	行なっている。	A	鍵を施錠して管理。	
	【①に係る指定管理者の自己評価】 新型コロナ感染拡大防止対策をして出来る限りの事業を行ない、来館者に楽しんでいただけた。					
	【①に係る施設所管課の評価】 新型コロナウィルス感染拡大防止の中、可能な限り参加者が楽しめる事業を考え実施できています。人員体制も適正で、迅速な修繕等により適切な施設の維持管理が出来ています。				区分評価	A

区分	項目	指定管理者	指定管理者備考	市	市備考
② サービスの質の評価	【施設の運営状況に関する事項】				
	窓口対応は適切に行われているか	A	行なっている。	A	
	アンケートを実施するなど、利用者の意見を聞いているか	A	年1回必ず行っており、利用者の要望や意見について反映している。	A	年2回の実施を、1回の実施で利用者の声を拾えるとして変更予定との事。
	苦情や要望等に対して迅速にかつ適切に対応しているか	A	対応している。	A	
	事故等が発生した場合、速やかに市に報告しているか	A	報告している。	A	風呂で救急搬送1件あり。
	施設の清掃業務や衛生管理は適正か	A	行なっている。	A	手指消毒や健康チェック表に検温数値の記入をさせている。
	貸出備品等は良好に保たれているか	A	保っている。	A	車椅子、ポータブルマイク等。
	実施された自主事業等は満足できる内容であったか	B	コロナ禍の中なので十分とは言えない。	B	
	【指定管理者が設定したサービス水準に関する事項】				
	困りごと相談窓口を開設し利用者の生活相談に応じている	A	月1回相談窓口を開設。	A	相談利用者なし。窓口がある事は掲示物やHPIにてPRしている。
	健康啓発にて来館者の熱中症予防や感染症予防ができていますか	A	感染症注意喚起の掲示。	A	
	福祉団体等の関係機関と連携協力し、利用者と地域社会が協働できる事業を実施しているか	A	子ども会関係等の協力を得てイベントを実施(1月予定)。	A	オミクロン株の猛威で中止決定。
	HPIによる広報・PR活動により利用者の増加	A	本会HP内に老人福祉センター情報を掲載。	A	
	【②に係る指定管理者の自己評価】 前事業所の職員を継続雇用でき、平常どおり利用者への対応ができています。 自主事業として、コロナ禍の中なので全て出来ている訳ではないが、1月～3月の間では対応できる事業については実施していきたい。 物販10～12月売上げ件数(コピー白黒302件、コピーカラー10件、タオル1件、名札2件)				
【②に係る施設所管課の評価】 コロナ禍の中、衛生管理を徹底させて出来る限りのサービスで来館者に対応ができています。今後も有事の際には適切な対処をしていただきながら、来館者が楽しめる事業の実施をお願いします。				区分評価	B
③ サービス提供の安定性の確認	事業収支は黒字になっているか	B	赤字にはなっていないが、事業収入の増加に努めていきたい。	B	
	必要な帳簿は備えられているか	A	適切に行なっている。	A	売上帳簿や会計帳簿等がある。
	経理処理は適正に行われているか	A	適切に行なっている。	A	
	収入増加のための取組がなされているか	A	前事業所からの物販を継続。カラーコピーを導入。	A	
	管理経費縮減に関する取組がなされているか	A	適切に行なっている。	A	
	団体の経営状況は健全で安定しているか	A	安定している	A	
	【③に係る指定管理者の自己評価】 事業運営に関して、健全で安定した運営を行うことができています。				
	【③に係る施設所管課の評価】 収入増加のための取り組みは中々難しいものの、必要な帳簿はきちんと備えられているため経理処理や団体経営としては健全に行なわれています。今後も利用者に安定したサービスが提供出来るよう適切な運営をお願いします。				区分評価

【項目評価】

- S (優良) : 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準を上回っている。
- A (良好) : 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿っている。
- B (課題あり) : 協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C (要改善) : 協定書、仕様書等が遵守されておらず、改善が必要である。

【区分評価】

- S (優良) : 項目評価が全てA以上、かつSが過半数以上。
- A (良好) : 項目評価が全てA以上。
- B (課題あり) : 項目評価にBがある。
- C (要改善) : 項目評価にCがある。